

KH-20-12 (白鳳丸) 研究航海報告

\* 航海番号 KH-20-12 次研究航海

\* 航海名称 (和文) 知床沖における海洋-海氷-物質循環-生態系の相互連関に関する研究

(英文) Interlinkage of Ocean-sea ice-material circulation-ecosystem around Shiretoko, the Sea of Okhotsk

\* 観測海域 (和文) 北海道オホーツク海沿岸  
(英文) The Okhotsk Sea coast of Hokkaido Island

\* 航海期間 令和2年12月8日(火)~令和2年12月25日(金)

\* 出港日時・場所 12月8日14時・横須賀港

\* 入港日時・場所 12月25日11時・東京港

\* 寄港期間・場所 該当無し

\* 研究課題 知床沖における海洋-海氷-物質循環-生態系の相互連関に関する研究

\* 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)

中村知裕・北海道大学低温科学研究所・講師・nakamura@lowtem.hokudai.ac.jp

\* 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目

1. 係留系による東樺太沿岸流の通年観測、藤尾伸三 (fujio@aori.u-tokyo.ac.jp)、係留系設置 (流速、水温、塩分、セジメントトラップ)
2. 南部オホーツク海および根室海峡の冬季水塊構造と栄養物質分布、西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)、CTD-CMS、L-ADCP と採水 (クロロフィル、栄養塩類 (硝酸塩、亜硝酸塩、アンモニウム塩、リン酸塩、ケイ酸塩)、水酸素同位体、塩分分析、溶存酸素)、表層モニタリング (水温、塩分、CDOM、クロロフィル)、船底 ADCP
3. 表層堆積物中の底生珪藻類と Ice Rafted Debris (IRD) の測定、入野智久 (irino@ees.hokudai.ac.jp)、マルチプルコアラーとオケアングラブ採泥器 (半割、1cm 輪切り、

DNA 用最表層試料)、マルチビーム音響測深、サブボトムプロファイラー

4. 南部オホーツク海と根室海峡における植物プランクトン群集構造と基礎生産力、鈴木光次 (kojis@ees.hokudai.ac.jp)、CTD-CMS 採水および培養実験 (DNA, RNA, 植物色素, 一次生産力, 検鏡, フローサイトメトリー)
5. 根室海峡における潮汐の観測、中村知裕 (nakamura@lowtem.hokudai.ac.jp)、CTD、L-ADCP、船底 ADCP
6. 海棲哺乳類の観測、三谷曜子 (yo\_mitani@fsc.hokudai.ac.jp)、目視 (発見角度と距離、緯度経度、時刻、種、個体数、行動)

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

中村知裕・北海道大学低温科学研究所・講師

西岡純・北海道大学低温科学研究所・准教授

藤尾伸三・東京大学大気海洋研究所・准教授

柳本大吾・東京大学大気海洋研究所・助教

石垣秀雄・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員

中川美和・東京大学大気海洋研究所・技術職員

鈴木光次・北海道大学大学院地球環境科学研究院・教授

三谷曜子・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・准教授

入野智久・北海道大学大学院地球環境科学研究院・助教

伊藤薫・北海道大学低温科学研究所・学術研究員

押野裕大・北海道大学大学院環境科学院・大学院生

後藤寛治・北海道大学大学院環境科学院・大学院生

渡邊翔・北海道大学大学院環境科学院・大学院生

YUAN Nan・北海道大学大学院環境科学院・大学院生

LI Heping・北海道大学大学院環境科学院・大学院生

渡邊裕・北海道大学大学院環境科学院・大学院生

西條竜碧・北海道大学理学部・学部生

大塚日菜子・NHK 札幌放送局放送部・ディレクター

古元幹也・NHK 札幌放送局放送部・ディレクター

館脇雄次・有限会社ホークアイ・カメラマン

山崎善一・有限会社ホークアイ・音声

佐々木孔明・株式会社ヘキサメディア・ドローン操縦者

片山陽平・株式会社マリン・ワーク・ジャパン (MWJ)・観測技術員

小松亮介・株式会社 MOL マリン海洋事業室・観測技術員

\* 航跡・測点図

